



# 新吉田

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinyoshida>

横浜市立新吉田小学校

## 仲間とともに学んだ修学旅行

学校長 税田 栄一

初夏のまぶしい日差しが感じられる季節となりました。日によっては30度近くまで気温が上がり、子どもたちも額に汗をにじませながら元気に活動しています。水分補給や休養を大切にしながら、この時期ならではの学びや運動に取り組んでいきたいと思います。

さて、6年生は5月15日から一泊二日で日光修学旅行に行っていました。江戸時代の文化や日光東照宮についての事前学習に加え、プロジェクトごとに役割分担をしながら準備を進めてきました。出発式では、「自然との出会い」「歴史との出会い」、そして「友達との出会い」という三つの出会いについて話をしました。中でも「友達との出会い」については、今回の修学旅行の中で最も大切にしてほしいと伝えました。

実際に修学旅行を終えた子どもたちは、「どんな人ともまずは関わってみることが大切。関わることで、その人のいろいろな一面を知ることができる。」「一人では一つの考えしか出てこないけれど、班の人と一緒に考えたり行動したりすることで、たくさんの気づきがあり、100倍楽しめる。」といった振り返りが見られました。仲間と過ごした時間の中で、多くの気づきと成長があったことが伝わってきます。到着式では、「この修学旅行で得た経験は一生の宝物になる。」と話しましたが、子どもたちの表情から、その言葉が確かなものになったと感じました。



話は変わりますが、先日、地域の方が学校を訪れてくださいました。「風で飛ばされていたビニール袋のごみを、新吉田小学校の5年生か6年生くらいの女の子が拾って持ち帰ってくれました。とてもいい気持ちになったので伝えに来ました。」というお話でした。地域の中でそのような行動が自然にできる子どもが育っていることに、校長として大変うれしく思いました。

その話を「みんなの会」で全校児童に紹介した翌日、今度は1年生の児童が「校長先生、家の近くに割りばしが捨ててあったから拾って持ち帰ったよ。」と話してくれました。上級生の姿や話が、学年を超えてよい影響を与えていることを感じる、心温まる出来事でした。

本校の学校教育目標「しんけん なかよし だいすき」の「だいすき」には、「自分の住むまちを好きになり、大切にす」思いが込められています。子どもたちのこうした姿から、その心が確実に育まれていることに喜びを感じるとともに、これからも学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの豊かな心を育ててまいりたいと思います。